

## 「環境ホルモン戦略計画SPEED'98」の改訂状況等について

### 目的

SPEED'98 が発表されてから現在までの新たに得られた国内外の科学的知見の追加、また国際状況等を踏まえた修正を加えるなど、今後の環境省としての対応方法等について記載する。

### 方法

専門家からなる改訂ワーキンググループを設置し、検討を進める。ワーキンググループは、環境省環境保健部長の諮問機関として設置されている「内分泌攪乱化学物質問題検討会」の下部組織とし検討状況を同検討会に適宜報告する。

### 委員構成

氏名	所属
青山博昭	(財)残留農薬研究所毒性第一部副部長
有田芳子	全国消費者団体連絡会事務局
井口泰泉	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター教授
井上 達	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長
鈴木継美	東京大学名誉教授
長濱嘉孝	自然科学研究機構基礎生物学研究所教授
花岡知之	国立がんセンターゲノム予防研究室長
森田昌敏	(独)国立環境研究所統括研究官
中園 哲	北九州市環境科学研究所所長
山口孝明	住友化学工業(株)レスポンスブルケア室主席部員

### 改訂の時期

平成15、16年度の2カ年で改訂作業を行う。

### これまでの開催状況と主な検討事項

#### 第1回 H15.10.28

これまでの環境省の取組みおよび各省庁ならびに国外における取組みについてのレビュー。  
今後の作業の進め方について検討。

#### 第2回 H16.3.9

改訂版骨子のうち、現状認識に関して、SPEED'98 と WHO グローバルアセスメントの比較を踏まえての、改訂版に記載する項目案(前半部)を検討。

これまでの取組みの成果のまとめ方として、一般向けパンフレット「取組の成果(仮称)」の作成に関して検討。

・パンフレットへの記載項目については、専門家へのアンケートを実施

第3回 H16.4.27

改訂版骨子のうち、重点課題に関して、WHO、EC、IUPAC の報告書等の項目から抽出した重点課題一覧と SPEED'98 との比較表に基づいて、改訂版に記載する項目案（後半部）を検討。  
パンフレット「取組の成果(仮称)」への記載項目について、専門家へのアンケートの結果を基に記載項目を選定。

第4回 H16.6.1

改訂版に記載する項目に関して、記載する現状報告例と評価方針、WHO、EC、IUPAC の報告書等から抽出した項目からの再抽出と分類、検討すべき物質の選定の方法についてのフロー図化について検討。  
パンフレット「取組の成果(仮称)」(案)および配布先(案)を検討

第5回 H16.6.15

改訂版に記載する項目に関して、記載する現状報告例の抽出方法の確定および評価作業を担当する専門家の選任、WHO、EC、IUPAC の報告書等から抽出した項目からの再抽出と分類に関する各委員からの意見のとりまとめ。  
パンフレット「取組の成果(仮称)」修正案の検討。

第6回 H16.9.8

影響に関する報告例の評価結果の検討  
改訂後の新たな対応方針に係る意見収集についての検討。

今後の予定 -----

・ 第7回	H16.10.5	自治体からのヒアリング結果について オブザーバー等からの意見発表
・ 第8回	H16.11	改訂版(案)について議論
・ 第9回	H16.12 H17.1 ~ 2	改訂版の確定 パブリックコメントの実施
・ 第10回	H17.3	改訂版とりまとめ

・ 内分泌攪乱化学物質問題検討会へ提出し改訂版の承認を得る。